

新年のごあいさつ



越前町長

内藤 俊三

あけましておめでとうございます。町民の皆様には、令和2年の新春をつがなくお健やかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。また、旧年中は、町政推進に對しまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、5月1日に新天皇陛下が御即位され、新しい「令和」の時代が幕を開けた特別な年でありました。一方、7月、8月には九州地方での豪雨、9月、10月には超大型で最強クラスの台風が連続して襲来するなど、甚大な被害をもたらす自然災害が多発いたしました。また、10月には、消費税率が8%から10%に引き上げられ、いずれも、今後の人々の生活に大きな影響を及ぼす、歴史の変わり目となる出来事であったように思います。町内の出来事に目を移しますと、合併後の懸案事項に着実に取り組み、成果を示す年となりました。1月には、新築完成いたしました越前町学校給食センターにおいて、町内小中学校などの給食、約2千食を最新の設備で一括調理し、配食を開始いたしました。4月には、役場本庁舎建設工事の安全

祈願祭が挙行され、この新庁舎が、町民の皆様の新たな拠り所となるようにと願いを込めて、現在、令和2年度の完成に向けて、工事を進めているところでございます。7月の第25回参議院議員通常選挙からは、町内の投票所について、従来の26箇所を統廃合により25箇所として実施することとし、多くの町民の皆様のご理解をいただきながら、投票区再編の第一歩を進めることができました。一方、スポーツ、文化面におきましては、6月に男子ホッケーカナダ代表チームのキャンプを町立ホッケー場に招聘し、本年開催される東京オリンピックに向けて、ホッケーの町を充分にPRいたしました。7月には、全国高校野球選手権福井大会において、丹生高校野球部が旋風を巻き起こし、見事、準優勝に輝き、町民に甲子園への夢を与えてくれました。10月には、アメリカアラバマ州モンテパロ市との姉妹都市交流覚書を更新し、今後10年間にわたり文化交流を継続し、友好を深めることを誓いました。このような中、民間のシンクタンクによる市区町村別の「魅力度ランキング」

において、本町は230位と福井県内では最高位であると発表されたことは、町民の皆様による様々な取り組みがまちの魅力として評価された賜物であると、心より感謝を申し上げます。さて、本年は、十二支の「子年」ということで、新しいサイクルの始まり、未来への可能性、繁栄という意味が込められております。

「観光立町」の実現を目指している本町の将来の繁栄に向けて、令和5年春の北陸新幹線敦賀開業という転換期を捉えることが重要であり、本町への誘客動線となる道路網の整備、特に国道365号や国道305号の改良整備、並びに移動手段となる交通網の整備が必要不可欠でございますので、整備の促進に尽力して参りたいと考えております。

また、引き続き「快適居住」「人材育成」「仕事応援」「観光交流」を施策の柱として事業に着実に取り組み、併せて「越前ブランド」を磨き育みながら、町民の皆様がふるさと越前町に誇りと愛着を持ち、住み続けたいと思える、魅力あるまちづくりを進めて参りますので、更なるご支援ご協力をお願いいたします。

年頭にあたり、町民の皆様のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、本年も格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



越前町議会議長

青柳 良彦

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、越前町議会議長として謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えられたこととお喜び申し上げますとともに、日頃から、町議会の活動に對し、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、4月に町議会の構成を改め、議会活動を活性化するため8月に議会に関するアンケート調査を実施させていただきました。それは、町民の皆様と町議会との距離を縮めるための糸口を見出すために、議会の情報公開のあり方と、町民の皆様が町議会や議員の活動に對しどのような考えを持っているのかなど調査するものでした。

18歳以上の町民の方2千人を対象に、各年代、男女毎に均等となるよう振り分け、抽出して実施いたしましたところ、521人の方から回答をいただくことができました。

厳しいご指摘、苦言・提言で回答欄を

はみ出すまでご記入いただくなど、丁寧に回答くださったことを大変ありがたく思っております。

自由回答欄に記入いただいた内容を確認するため、全議員に回覧いたしました。改めて、ご回答いただいた皆様には、心より御礼申し上げます。

集計結果は、内容をグラフに整理し、12月号の町広報誌と共に町民の皆さんに配布させていただきました。町議会は、町民に開かれた議会、「情報公開」、「住民参加」をキーワードに、お寄せいただいたご意見を真剣に受け止めて、これからの活動を検討して参りますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私たちを取り巻く社会情勢は、人口減少、少子高齢社会の進展や行政ニーズの多様化など大きく変化しております。

また、新年度から本町の収入財源の柱である地方交付税が、合併後の特例期間を終えて一本算定となり、自主財源が大きく減少するなど町財政は一層厳しい状

況になります。

その中で、地域の人口減少に歯止めをかけ、地域振興の事業費や社会保障関係の費用、公共施設の老朽化等に伴う維持管理経費の増加など、町は多様な町民ニーズに応え、行政サービスを的確に提供して行かなければなりません。

新年度は、第二次越前町総合振興計画（2016年―2025年）の中間年にあたり、計画の進捗成果をチェックし、計画の修正を審議いたします。

新たな年を迎えまして、町民から信頼される議会を目指し、議員一人ひとりが職責を自覚し、議会が「町民のため」にあり、町民が良質で低コストの行政サービスを継続的に受けられるよう、町の基本政策や重要事項の決定を通じて、執行機関の監視、チェックに努めて参ります。本年も、町民の皆様のご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

この新しい年が、町民の皆様にとって、希望に満ち溢れた最良の年となることを心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。